

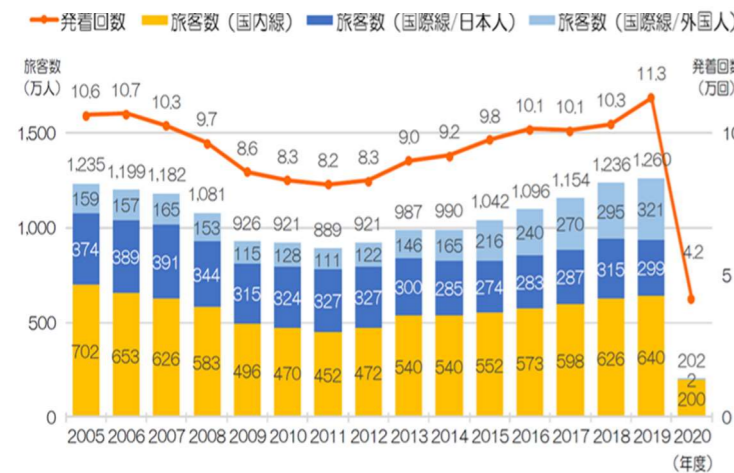
2021年度 国際観光都市機能整備調査事業 報告書概要

中部国際空港やその周辺エリアにおいて、「MICEを核とした国際観光都市」の実現を目指し、With/After コロナを見据えたうえで、当地域の活用方策・需要喚起策、魅力ある機能整備の具体化等の検討を行った。

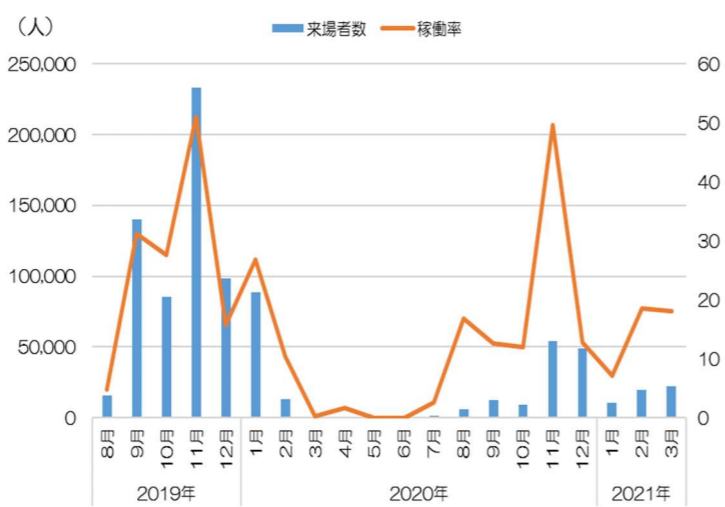
1 基礎情報の整理

新型コロナウイルスの影響を踏まえ、中部国際空港の発着回数や愛知県国際展示場の来場者数など、現状について再整理を行った。

中部国際空港の発着回数および旅客数の推移



愛知県国際展示場の来場者数および稼働率の推移



2 国際観光都市の機能整備の検討

多種多様な来訪者が、安心・安全かつ快適に利用・滞在できるエリアとするため、感染症対策、ユニバーサルデザイン・ダイバーシティ、動線、景観の観点から With/After コロナを見据えた国際観光都市に必要な機能整備について、国内外の感染症対策の指針やガイドライン、事例等を調査し、取り組むべき方向性を検討した。

主な取組の方向性

With/After コロナを見据えた感染症対策

- 「経営・組織運営」、「施設・設備強化」、「業務上の配慮」といった、感染症対策の主要な観点からの検討が必要
- コロナ禍を契機としてMICE開催手法の多様化が想定されるため、ハイブリッド形式をはじめとした各種ノウハウが定着することを念頭にした検討が必要

来訪者の多様なニーズに対応できるユニバーサルデザイン・ダイバーシティ

- 高齢者や障害者等が移動する際の障害を取り除くバリアフリーだけでなく、礼拝施設やジェンダーフリーに対応したトイレ、宗教や食制限などに対応した飲食機能の整備といった、多種多様な来訪者に対して配慮するダイバーシティを踏まえた検討が必要

多様な動線の検討

- 混雑時においても円滑かつ安全に人の移動ができるよう、群衆の特性を踏まえた整備
- 動線の円滑化のため、顔認証・ロボットの活用等、最先端技術の導入
- VIPの来場による一般来訪者との動線分離

国際観光都市にふさわしい景観デザイン

- 来訪者の期待感を高める「夜間景観」や「華やかさ」を演出
- 空港島の特性としての「親水」を演出

3 来訪者の満足度を高める機能検討

With/After コロナにおいて、世界各国からMICE参加者や観光客を引き寄せ、さらに滞在中の満足度も高めていく方策を検討するため、国内外の事例を調査し、取り組むべき方向性を検討した。

主な取組の方向性

非日常を演出する魅力的な空間の提供

- 幅広い世代が楽しめるコンテンツを提供し、様々なニーズに対応できるよう、域内外でのアクティビティの充実を図り、気軽にアクセスできる仕組みの構築
- 地域の特産品やご当地グルメなどを提供することによる認知度の向上
- エリア内外で滞在する長期型の旅行形態を可能とする受入環境の整備

地域の交流の場となる拠点づくり

- 地域住民と来訪者が安心して過ごすことができるエリアの形成
- MICE来訪者がMICE開催前後に当地域の企業や工場を視察する仕掛け(テクニカルビジット)の構築

世界から人を呼び込むエリアの形成

- 来訪した際に現地をより楽しむことができるよう、オンライン技術を活用した訪日前のプロモーションに注力
- MICE参加者が滞在期間中、不自由なく、安心して過ごすことができる最先端技術の活用